

日本生活学会 41 回大会 ワークショップ概要

41 回大会は渋谷の青山学院大学で開催されます。その周辺には、明治神宮や青山墓地があるほか、戦後 GHQ によって接収された NHK やオリンピックスタジアムが立つ、歴史的・政治的な蓄積が色濃くみられる地域です。渋谷駅の周辺には、1980 年代からの駅ビル開発や西武による開発、さらには 109 やセンター街などの 10 代・20 代を対象とするファッションビルや娯楽地域の開発が集中しています。それとともに駅前のスクランブル交差点のイルミネーションは世界中の人々の好奇心をそそっていますが、その傍らで、地下街には何十年も存続する小規模商店が並び、ガード脇にはのんべい横町がしっかりと根付いています。表参道周辺のブランドショップや歴史的景観、竹下通りの若者観光客相手の街並みなどをあげるまでもなく、青山は渋谷・原宿に囲まれた様々な顔を持つ街です。

建物や街並みの基盤となる地理的環境も、多くの坂に囲まれ、暗渠と化した古い渋谷川が取り囲む興味深い地域であることも知られています。

このように、多様な特徴がないまぜになった青山・渋谷の都市空間で、人々はどのように暮らしているのか、我々はその実像にどこまで迫ることができるのかなど、「都市の日常性」を、現代のフィールドワークの名手たちとともに、いくつかのグループに分かれて調査します。そして、今和次郎の銀座調査から始まり川添登による巣鴨調査と継承されてきた今和次郎のモデルノロジオを、現代のわれわれがどう展開できるのかを発表しあい、ディスカッションを行いたいと思います。成果物は学会出版物として公表することを目指します。

日時:5 月 11 日 10:00-16:00

対象地区:竹下通り・センター街と 109・表参道周辺・渋谷駅周辺など

ワークショップ FW リーダー:石川初先生、加藤文俊先生、斎藤進先生、高野公三子先生

方法:リーダーにより方法・テーマをグループごとに設定してもらい、午前中に 2 時間半ほどフィールドワークをする。そのあと成果をまとめて発表会を行う。参加者の状況に応じて学生チームも編成する。

資料:各地域の地図、FW のテーマと方法等をリーダーのもとで準備し当日配布
(テーマの概要については 4 月に HP にて公表します)

アシスタント:グループごとに一人ずつ配置

参加費:500 円 (大会初日も会場にて参加申し込み可)